

地元食材の普及を進めよう

農業女性井戸端会議が試食会

12月15日、女性農業者でつくる農業女性井戸端会議が地元食材を使った試食会を観音滝公園交流センターで開催しました。

この試食会は、農業委員会主催で実施されたもので当日は25名が参加し地元のさつま地鶏やお茶、大豆などを使った「茶しゃぶ」「みそ鍋」「豆乳しゃぶ」「しょうゆ鍋」の4種類を試作しました。

その後試食に入ると参加者は、いろいろ食べ比べながら意見交換をおこない地元産の食材のおいしさに自信を深めたようでした。

農業委員会の久永豪会長は「この試食会は、地産地消（地元の食材を地元で消費する）にとってとてもよい試みだと思います。」また会員も「こういった活動を合併してからも宮之城や鶴田に広げていければ！」と話していました。



▶交流センターでの試作の模様

12月12日、梅の里さつま童謡コンサートが改善センターで開催されました。

この梅の里さつま童謡コンサートは、町文化協会主催でおこなわれたもので、当日は熊本県の日本国際童謡館から歌手が来町し、童謡を披露しました。

今回来町したのは、熊本県出身の矢部清子さんとがみまこさんが結成した童謡デュオ DOYO組です。2人は世界へ童謡を広げることを目的に現在活動中です。2人は「手のひらを太陽に」「小さな木の実」など童謡のヒット曲を爽やかなハーモニーで歌い、その澄んだ歌声に来場者も盛んな拍手を送っていました。また当日は、町内の音楽グループも参加し、一緒に歌を歌つたり演奏をおこなつたりしました。

子どもと一緒に来たという女性は「歌手の歌声がとてもすばらしかった。こういう催し物があつたらまた是非聴きにいきたい。」と感想を話していました。

六年生はやりがいがある永野小六年 平 拓之介君ぼく達は、永野小の六年生です。六年生は本当に忙しいです。朝のあいさつ運動、体力作りは毎日あるし、行事のあるたびに係になつて、全校をひっぱつていかなければいけないので、最初は「大変だな。」と思っていました。でもここ間、六年生によかつたと思つ出来事がありました。



▲すてきな歌を歌う
DOYO組

びいひい箱



木曜日の仲良し体育は、職員朝会が長びいて、なかなか先生方がいらっしゃいませんでした。最初は、じつと座つて待つていましたが、そのうちぼくが、「ねえ、ぼく達が前に出てやれば」と言いました。そしたら、史輝君が、「うん、出るが、出るが。」と、前に出でた。張したけど、みんなよく言うことを聞いてくれました。

そのうち、校長先生がいらして、「おーすばらしい六年生だ。」と、みんなの前でほ

六年生はやりがいがある永野小六年 平 拓之介君ぼく達は、永野小の六年生です。朝のあいさつ運動、体力作りは毎日あるし、行事のあるたびに係になつて、全校をひっぱつていかなければいけないので、最初は「大変だな。」と思っていました。でもここ間、六年生によかつたと思つ出来事がありました。木曜日の仲良し体育は、職員朝会が長びいて、なかなか先生方がいらっしゃいませんでした。最初は、じつと座つて待つていましたが、そのうちぼくが、「ねえ、ぼく達が前に出てやれば」と言いました。そしたら、史輝君が、「うん、出るが、出るが。」と、前に出でた。張したけど、みんなよく言うことを聞いてくれました。

そのうち、校長先生がいらして、「おーすばらしい六年生だ。」と、みんなの前でほ

工コマザー

永野小一年 山口紗祐梨さん

めで下さいました。帖佐先生にも、前の六年生もすばらしかつたけど、ここまでするんて、あなたたちもすごい。」とほめられました。いつも帖佐先生が「自分達で考えて進んで行動しなさい。」と言っていたからです。でも、ほめられた時は、本当にうれしくて「六年生も悪くないな。」と思いました。自分で言うのもなんですが、今永野の六年生はよくがんばっていると思う。

工コマザー

永野小一年 山口紗祐梨さん

とおくから工コマザーがきました。森じいとなかまたちのかみしばいやクイズがありました。かみしばいで森じいがしゃべりました。クイズでは、三もんせいがいました。でんきや水などむだづかいをしないように気をつけたいです。

さつまようぢえん

永野小一年 池山真衣子さん
きょうは、さつまようぢえんにいきました。さいしょに、ようぢえんせいのはつぴょう